

6. 安全に避難するには

土砂災害がどのようなものかわかったよね？

ただし、すべてのあぶない箇所対策工事ができるわけではないんだ

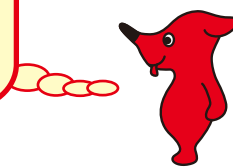
また、自然の力は私たちの予測をはるかに超えておそってくることがあるから、
対策工事ですべてまもれるわけではないことを忘れないでね

では、おそろしい土砂災害から身をまもるため私たちはどうすればいいのか、考えてみよう



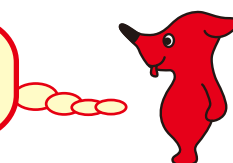
Q. ①私たちの命を土砂災害からまもるためにはどうすればいいの？

土砂災害がおこる前に早めに避難して、
自分の身をまもることが必要だよ



Q. ②早めの避難をするためにはどうしたらいいの？

日ごろから準備しておくことがとても大切だよ



日ごろから、先生、友人や家族と実際の避難について調べておこう

- ① 自宅の周辺や通学路などで土砂災害のおそれのある箇所を調べておきましょう
- ② 避難場所を確認しておきましょう
- ③ 避難場所までの道順を決めておきましょう
- ④ 避難するときの持ち物を確認しておきましょう



～日ごろの備えと早めの避難～

①自宅の周辺や通学路などの土砂災害のおそれのある箇所を調べておきましょう

じょうほう
ちば情報マップ

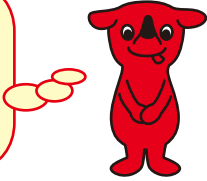
けんさく
検索

『土砂災害警戒区域』などは、
『ちば情報マップ』のウェブサイトの
『防災情報』から確認できます。



ちば情報マップ

自宅周辺を調べてみよう
県では、土砂災害のおそれのある
箇所を公開しているんだ

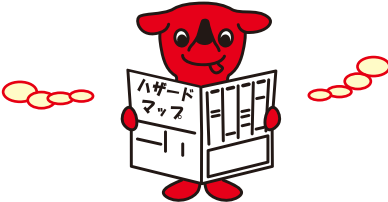


土砂災害警戒区域等（サンプル）

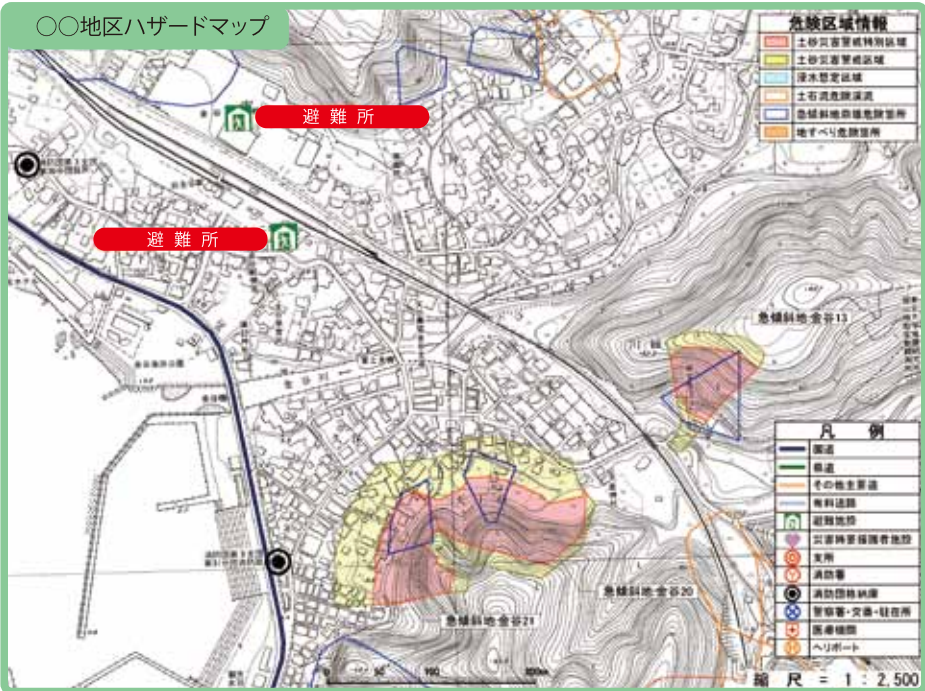
②避難場所を確認しておきましょう

③避難場所までの道順を決めておきましょう

日ごろから登下校するときに
避難場所などを確認しておこう



土砂災害ハザードマップは
市役所や役場でもらえるよ



（ハザードマップの例）

「土砂災害ハザードマップ」には、
土砂災害のおそれのある箇所や
どこに避難するか？ 避難場所、
そして避難場所までの避難ルート
が書かれているよ
日ごろから、避難ルートを確認し
ておくことが大切なんだ



非常持ち出し品の準備は
裏表紙で確認してね

～いざ！大雨のときはどうするの？～

どんなときに避難するのか考えてみましょう

ぼく・わたし

大雨が降り始めたら、
テレビ・ラジオなどをつけましょう。



- 家族と連絡をとりましょう。
- 持ち出し品を確認しましょう。
- がけから離れた部屋や2階で
過ごしましょう。

市役所や役場からの防災無線・
広報車などによる放送が聞こえ
たら、窓を開けて聞きましょう。

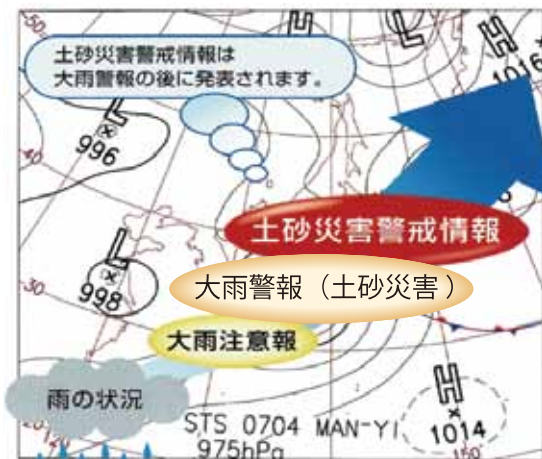
ひとりで避難するのではなく
家族や大人の人と一緒に避難しましょう。

**あわてないで
行動しよう！**

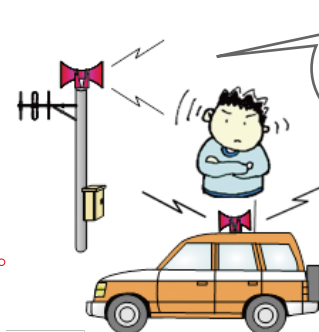
家に自分ひとりしかいないときもあるので、
家族との連絡方法を日ごろから話し合っておきましょう。

ラジオ・テレビ 市役所・役場

『大雨注意報』、
『大雨警報(土砂災害)』が発表され、
さらに大雨が続く見通しの場合に
『土砂災害警戒情報』が発表されます。



市役所や役場が避難指示の
避難情報を出します。



避難中に、
土砂災害の前ぶれ(P2～4)が
あった場合は、とても危ないので、
近づかないようにしましょう



土砂災害警戒情報が
発表される可能性の
ある地域



『土砂災害警戒情報』は
インターネットからも確認できます。

千葉県土砂災害警戒情報システム

けんさく
検索



千葉県土砂災害
警戒情報システム